平 成 ２２ 年 度

決 算 審 査 意 見 書

（付　基金の運用状況審査意見書）

鳥取県後期高齢者医療広域連合監査委員

平成２２年度決算審査意見書

第１　審査の概要

１．審査の対象

平成２２年度鳥取県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成２２年度鳥取県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

（附属書類）

平成２２年度一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成２２年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算事項別明細書

平成２２年度一般会計実質収支に関する調書

平成２２年度後期高齢者医療特別会計実質収支に関する調書

平成２２年度財産に関する調書

２．審査の期間

平成２３年９月２８日

３．審査の手続

審査に付された一般会計歳入歳出決算書・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているかどうかを確かめ、これらの計数の正確性を検証するため、関係諸帳簿その他証書類との照合等通常実施すべき審査を実施したほか、必要と認めたその他の審査を実施した。

第２　審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、概ね適正に行われているものと認められた。

第３　意見

当広域連合では、平成２０年４月に後期高齢者医療制度の創設以来、被保険者に係る医療給付を行っているが、その給付額は、年々増加の傾向にある。

平成２０年度　　５６，２３１，５１０千円　（ただし、H20.5　～　H21.3 の 11 ケ月分）

平成２１年度　　６４，０７８，１６５千円

平成２２年度　　６７，０８９，３７１千円

このため、後期高齢者健診の委託実施、医療費通知書送付の実施等を行い、医療費の抑制に努めているが、これらはいずれも被保険者に対する取組みであり、同様に国民健康保険制度等の健全な運営が大きな行政課題となっている県内市町村並びに県とも協力して、重複受診の抑制指導の強化、ジェネリック医薬品の活用拡大の要望等、県医師会等の関係機関に対する直接的な働きかけの実施を検討すべきと考えるところである。

第４　審査の内容概略

１．決算の総括

（１）決算規模

平成２２年度決算額は、次のとおりである。

・　一般会計　（単位：千円）

区　　分	当年度	前年度	増減額
歳　入　額	45,758	47,417	△1,659
歳　出　額	43,519	44,469	△950
差 引 残 額	2,239	2,948	△709

・　特別会計　（単位：千円）

区　　分	当年度	前年度	増減額
歳　入　額	71,370,757	70,230,200	1,140,557
歳　出　額	70,517,175	67,649,943	2,867,232
差 引 残 額	853,582	2,580,257	△1,726,675

〈一般会計〉　平成２２年度の一般会計決算規模は、歳入４，５７５万８千円、歳出４，３５１万９千円となり、前年度に比べ減少している。これは、派遣職員の異動により、職員給与等負担金（人件費）が前年に比較して減少したためである。

〈特別会計〉　平成２２年度の後期高齢者医療特別会計決算規模は、歳入７１３億７，０７５万７千円、歳出７０５億１，７１７万５千円となり、歳入・歳出とも前年度に比べ増加している。これは、医療費の増加によるものである。

（２）決算収支

平成２２年度における一般会計歳入歳出差引残額（形式収支）は２２３万９千円で、翌年度へ繰越すべき財源は０円であり実質収支の額も同額となっている。

また、特別会計歳入歳出差引残額は、８億５，３５８万２千円で、翌年度へ繰越すべき財源は０円であり実質収支の額も同額となっている。

・一般会計　（単位：千円）

区　分	歳入歳出差引残額（形式収支）	翌年度繰越財源	実質収支	単年度収支 A	積立金 B	積立取崩 C	実質単年度収支 (A+B−C)
当年度実績	2,239	0	2,239	△709	0	0	△709
前年度実績	2,948	0	2,948	1,201	0	0	1,201

・特別会計　（単位：千円）

区　分	歳入歳出差引残額（形式収支）	翌年度繰越財源	実質収支	単年度収支 A	積立金 B	積立取崩 C	実質単年度収支 (A+B−C)
当年度実績	853,582	0	853,582	△1,726,675	0	0	△1,726,675
前年度実績	2,580,257	0	2,580,257	14,624	0	0	14,624

（３）予算の執行状況

〈一般会計〉　歳入予算額４，５７５万６千円に対し、歳入実績は４，５７５万８千円となり、収入率は１００％以上と順当である。

歳出は４，３５１万９千円となり、予算額に対し９５．１％の執行率となっており、ほぼ順当な予算執行となっている。総務費を中心に不用額を生じており、不用総額は２２３万７千円となっている。

〈特別会計〉　歳入予算額７１６億６，７０２万５千円に対し、歳入実績は７１３億７，０７５万７千円となり、収納率は９９．６％となっている。

歳出は、７０５億１，７１７万５千円で予算額に対し９８．４％の執行率となっている。不用額総額は１１億４，９８５万円となっている。

会計別の執行状況は、後述のとおりである。

（４）債務負担行為

一般会計　（単位：千円）

区　分	平成２２年度	平成２１年度	増　減
債務負担行為限度額	1,440	1,440	0
債務負担行為額	1,305	1,305	0
当年度支出額	270	270	0
当年度末支出済累計額	1,035	765	270
翌年度以降支出予定額	270	540	△270

特別会計　（単位：千円）

区　分	平成２２年度	平成２１年度	増　減
債務負担行為限度額	443,518	695,856	△252,338
債務負担行為額	184,882	396,872	△211,990
当年度支出額	36,698	254,269	△217,571
当年度末支出済累計額	146,016	316,594	△170,578
翌年度以降支出予定額	38,866	80,278	△41,412

〈一般会計〉　平成１９年度において、長期契約による債務負担を設定しており、平成２２年度の総額は１３０万５千円となっている。期末現在の債務負担残高は、２７万円となっている。

〈特別会計〉　平成２２年度の総額は１億８，４８８万２千円となっている。その内訳は、電算システム関連業務と高額療養費圧着ハガキ作成委託業務であり、期末現在の債務負担残高は、３，８８６万６千円となっている。

２．歳入歳出の状況

①一般会計

歳入　　（単位：千円、％）

科　目	予算現額	調定額	収入済額	収　入 未済額	収入率対予算	構成比
11 分担金及び負担金	42,806	42,806	42,806	0	100.0	93.5
18 繰 越 金	2,948	2,948	2,948	0	100.0	6.5
19 諸 収 入	2	4	4	0	200.0	0.0
歳入合計	45,756	45,758	45,758	0	100.0	100.0

歳出　　（単位：千円、％）

科　　目	予算現額	支出済額	翌年度繰越明許費	不用額	執行率	構成比
1 議会費	863	615	0	248	71.3	1.4
2 総務費	44,393	42,904	0	1,489	96.6	98.6
14 予備費	500	0	0	500	0	―
歳出合計	45,756	43,519	0	2,237	95.1	100.0

〈歳入〉

平成２２年度の歳入総額は４，５７５万８千円で、予算対比１００％（調定額対比１００％）の収入率となっており、順当な実績となっている。

市町村負担金は、歳入総額の９３．５％にあたる４，２８０万６千円である。

また、歳入総額の６．５％が前年度繰越金となっている。

〈歳出〉

平成２２年度の支出総額は４，３５１万９千円で、予算対比９５．１％の執行率となっている。主な支出は、総務費における派遣元人件費負担３，８４６万４千円、事務室使用料の８５万７千円となっている。

なお、平成２２年度歳入・歳出の差額２２３万９千円は、次年度への繰越金として活用するものである。

②特別会計

歳入　　（単位：千円、％）

科　目	予算現額	調定額	収入済額	収　入 未済額	収入率対予算	構成比
市町村支出金	11,113,853	10,913,840	10,913,840	0	98.2	15.3
国庫支出金	23,555,473	23,645,148	23,645,148	0	100.4	33.1
県支出金	5,698,692	5,777,983	5,777,983	0	101.4	8.0
支払基金交付金	28,055,015	27,864,541	27,864,541	0	99.3	39.0
特別高額医療費共同事業交付金	3,500	8,605	8,605	0	245.9	0.0
財産収入	5,999	5,947	5,947	0	99.1	0.0
繰入金	594,210	489,490	489,490	0	82.4	0.7
繰越金	2,580,256	2,580,257	2,580,257	0	100.0	3.6
県財政安定化基金借入金	1	0	0	0	0	―
諸収入	60,026	84,955	84,947	8	141.5	0.1
合計	71,667,025	71,370,766	71,370,757	8	99.6	100.0

※収入済額の合計が整合しないのは、端数整理によって生じたものである。

【参考】　各市町村保険料収納率（現年度分）　　（単位：円、％）

区分	調定額	収納額	収納率
鳥取市	1,320,729,300	1,313,790,574	99.47
米子市	1,099,359,900	1,091,589,933	99.29
倉吉市	368,397,000	366,907,040	99.60
境港市	256,725,500	254,735,700	99.22
岩美町	90,012,500	89,384,000	99.30
若桜町	29,379,300	29,379,300	100.00
智頭町	50,807,200	50,662,200	99.71
八頭町	110,420,300	109,732,544	99.38
三朝町	47,111,100	47,088,600	99.95
湯梨浜町	104,128,400	103,718,200	99.61
琴浦町	128,705,000	128,357,000	99.73
北栄町	94,660,500	94,548,900	99.88
日吉津村	25,597,100	25,597,100	100.00
大山町	110,241,500	109,907,180	99.70
南部町	74,738,100	74,730,000	99.99
伯耆町	81,273,600	80,979,000	99.64
日南町	52,417,500	52,388,300	99.94
日野町	33,876,800	33,876,800	100.00
江府町	27,573,900	27,565,900	99.97
合計	4,106,154,500	4,084,938,271	99.48

※平成２３年５月３１日現在（市町村集計）

歳出

（単位：千円、％）

科　　目	予算現額	支出済額	翌年度繰越明許費	不用額	執行率	構成比
総務費	172,881	159,150	0	13,731	92.0	0.2
保険給付費	68,188,556	67,089,371	0	1,099,185	98.4	95.1
県財政安定化基金拠出金	62,727	62,727	0	0	100.0	0.1
特別高額医療費共同事業拠出金	9,060	8,938	0	122	98.7	0.0
保健事業費	170,015	145,070	0	24,945	85.3	0.2
基金積立金	1,319,334	1,319,305	0	29	100.0	1.9
公債費	880	0	0	880	0	―
諸支出金	1,734,451	1,732,614	0	1,837	99.9	2.5
予備費	9,121	0	0	9,121	0	―
合計	71,667,025	70,517,175	0	1,149,850	98.4	100.0

〈歳入〉　平成２２年度の歳入総額は７１３億７，０７５万７千円で、予算対比９９．６％（調定額対比１００％）の収入率となっている。

国庫支出金は、歳入総額の３３．１％にあたる２３６億４，５１４万８千円となっているほか、支払基金交付金は２７８億６，４５４万１千円で、３９．０％を占めている。

なお、市町村支出金のうち、保険料等負担金は市町村が徴収した保険料等の実額を納付することになっている。市町村全体の保険料収納率は、９９．４８％となっており、島根県につぎ全国で２番目に高かった昨年度の保険料収納率と同じ９９．４８％を維持している。中には収納率１００％の町村も３町村見受けられる。（【参考】各市町村保険料収納率（現年度分））

〈歳出〉　平成２２年度の支出総額は７０５億１，７１７万５千円で、予算対比９８．４％の執行率となっている。主な支出は、保険給付費における療養諸費６４５億２，９４９万６千円、同じく保険給付費における高額療養諸費２４億５，６３９万５千円となっている。

なお、平成２２年度歳入・歳出の差額８億５，３５８万２千円は、次年度の国・県・支払基金への返還金及び医療給付費準備基金への積立金並びに次年度への事務経費繰越金として充当するものである。

３．財産の状況

平成２２年度末における財産の状況は、以下のとおりとなっている。

（1）公有財産

該当する財産はないものと認める。

（2）物品

電子計算機および汎用ソフト一式及び軽自動車１台となっている。

（3）債権

該当する財産はないものと認める。

（4）基金

基金の年度末残高は、後期高齢者医療制度臨時特例基金残高は１０億５，１０７万８千円、後期高齢者医療給付費準備基金残高は２０億１，４５８万４千円となっている。

（※後期高齢者医療制度臨時特例基金は、出納整理期間中に251万5千円の取崩しを行ったため、平成22年度の基金残高は、10億4, 856万3千円となっている。）

参考

歳入歳出外現金

（単位：千円）

項　目	前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高
税金及び掛金	34	714	697	51
利　　子	0	3	3	0
合　　計	34	717	700	51

平成２２年度基金の運用状況審査意見書

第１　審査の概要

1.　審査の対象

平成２２年度鳥取県後期高齢者医療広域連合基金の運用状況

２．審査の期間

平成２３年９月２８日

３．審査の手続

審査に付された平成２２年度の基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査手続を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

第２　審査の結果

審査に付された平成２２年度の基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものとみとめられ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

１．２２年度基金の運用実績

鳥取県後期高齢者医療制度臨時特例基金は平成２０年２月１９日に条例を制定し、また鳥取県後期高齢者医療給付費準備基金は平成２１年１１月２６日に条例を制定して基金運用を行っている。

（単位：千円）

基金の名称	前年度末残高	決算年度中増減高	決算年度末残高	出納整理期間増減高	5月31日現在残高
後期高齢者医療制度臨時特例基金	1,040,276	10,802	1,051,078	△2,515	1,048,563
後期高齢者医療給付費準備基金	1,193,056	821,528	2,014,584	0	2,014,584
合　　計	2,233,332	832,330	3,065,662	△2,515	3,063,147

※平成２２年度においては、臨時特例基金の取り崩しにより、出納整理期間に増減があった。

２．年度末（３月３１日）現在基金運用内訳

当年度の運用状況は次のとおりとなっている。

○後期高齢者医療臨時特例基金

（単位：千円）

運用先の名称	種別	金額	運用期間	運用利率	備　　考
鳥取銀行 倉吉中央支店	普通預金	1,697	通年	0.02%	預金利息
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	75,912	H22.4.2～ H23.4.2	0.10%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	4,293	H22.4.2～ H23.4.2	0.07%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	39,252	H22.10.8～ H23.4.8	0.05%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	50,338	H22.10.8～ H23.4.8	0.05%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	312,961	H22.10.8～ H23.4.8	0.05%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	126,408	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	81,223	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	67,538	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	

鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	12,074	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	30,778	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	26,604	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	
合計		1,051,078			

○後期高齢者医療給付費準備基金

運用先の名称	種別	金額	運用期間	運用利率	備　　考
鳥取銀行 倉吉中央支店	普通預金	5,339	通年	0.02%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	693,056	H23.3.23～ H24.3.23	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	500,000	H23.3.23～ H24.3.23	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	410,000	H23.3.30～ H23.5.30	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	406,189	H23.3.30～ H24.3.30	0.40%	
合　計		2,014,584			

（参考）平成２３年５月３１日現在の運用形態

○後期高齢者医療臨時特例基金

（単位：千円）

運用先の名称	種別	金額	運用期間	運用利率	備　　考
鳥取銀行 倉吉中央支店	普通預金	1,697	通年	0.02%	預金利息
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	126,408	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	22,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	81,224	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	67,538	H23.2.24～ H23.11.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.8.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	35,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	17,000	H23.2.24～ H23.6.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	12,074	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	30,778	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	

鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	26,604	H23.3.16～ H24.3.16	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	4,293	H23.4.2～ H24.4.2	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	75,313	H23.4.4～ H24.4.4	0.04%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	50,338	H23.4.8～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	312,961	H23.4.8～ H23.10.8	0.03%	
鳥取銀行 倉吉中央支店	定期預金	37,336	H23.4.8～ H24.4.8	0.04%	
合計		1,048,563			